

第2回 生産性向上ロボット導入・活用セミナーのご案内

近年、人手不足の深刻化や生産性向上への期待から、道内中小企業においても産業用ロボットに対する関心が一層高まっています。

こうした中、工業試験場では、11月20日、本道食品加工メーカーに対するロボット導入の担い手（Sler）を育成するため、場内に“食品ロボット実証ラボ(ROBOLABO)”を開設しました。

本セミナーでは、慶応義塾大学ハプティクス研究センター副センター長の永島 晃氏を招き、従来のロボットでは把持やハンドリングが難しかった青果物（ブドウやイチゴ等）の選別・箱詰め作業の自動化・省力化を支援するために、慶応義塾大学が世界で初めて実現した鋭敏な力触覚伝送技術（リアルハプティクス技術）とその応用について紹介いただきます。

是非、ご参加いただきますようご案内いたします。

日 時	平成31年1月25日（金）14：00～17：00	
場 所	北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 工業試験場 研修室 （札幌市北区北19条西11丁目）	
研修内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. テーマ 「リアルハプティクス技術が支援する 人機協働による食品・農作業現場」 2. 講師 慶応義塾大学 ハプティクス研究センター 副センター長 永島 晃 氏 3. 研修内容 <ol style="list-style-type: none"> ① リアルハプティクス技術紹介 ② リアルハプティクス技術の食品分野／農業分野への応用（シブヤ精機㈱） ③ デモ機などによる技術紹介 ④ 質疑及びフォローアップ 	
主 催	（地独）北海道立総合研究機構	
共 催	リアルハプティクス応用農作業機器研究開発プラットフォーム	
対 象 者	道内食料品製造業者、システムインテグレーター企業、農作業従事者 他	
参 加 費	無料	
定 員	40名	
申込方法	申込書にご記入の上、1月18日（金）までにE-mail又はFAXでお申し込み下さい。	
申 込 先	（地独）北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 ものづくり支援センター（菱川） E-mail：hishikawa-yoshiyuki@hro.or.jp FAX：011-726-4057	

食品ロボット実証ラボ(ROBOLABO)について

- ◆経産省「地域における中小企業の生産性向上のための共同基盤事業」（H29補正、総事業費8,500万円）を活用し、当場内に“食品ロボット実証ラボ(ROBOLABO)”（通称：ロボラボ）を新設。
- ◆本道初の「ロボットSler（ロボットシステムインテグレーター）の育成拠点」として各種ロボットを用いた実践的な技術習得を支援など、中小企業のロボット活用に係る供給側・需要側の双方に対する様々な支援拠点として、食品分野をはじめ道内製造業の生産性向上に寄与していく。

第2回 生産性向上ロボット導入・活用セミナー 参加申込書

<申込先> (地独) 北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 ものづくり支援センター
E-mail : hishikawa-yoshiyuki@hro.or.jp FAX : 011-726-4057

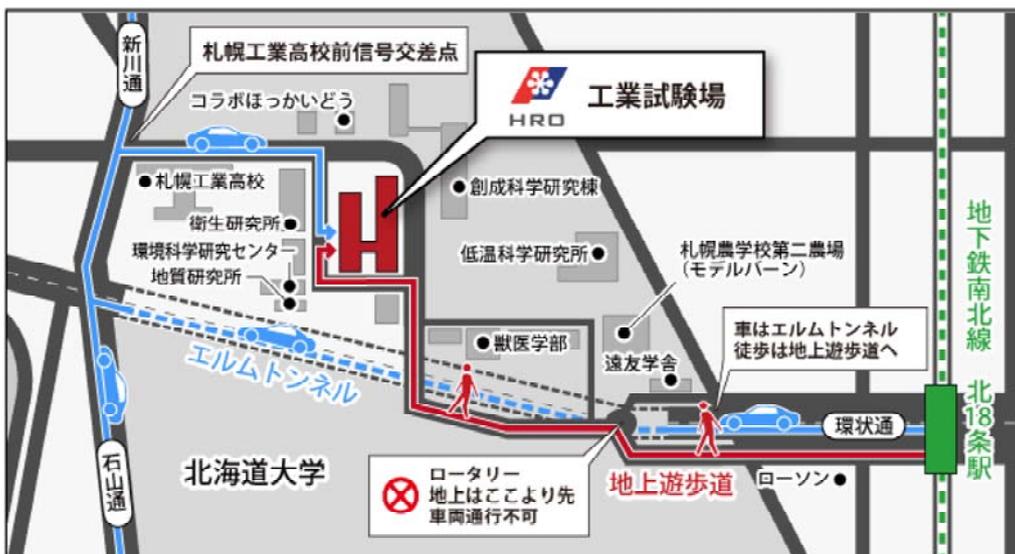
※ 希望者多数の場合は調整させていただきますので御了承ください。

企業名			
業種			
所在地	〒 -		
電話番号		FAX番号	

参加者氏名			所属・役職	
E-mail				
参加者氏名			所属・役職	
E-mail				

※ 申込情報は本セミナーの運営に関する組織内情報として使用いたします。

<工業試験場までのアクセスマップ>



<p>徒歩 15分</p> <p>■ 市営地下鉄南北線「北18条駅」より徒歩約15分(約1Km)。 ※エルムトンネル上の「地上遊歩道(赤い線)」をご利用ください。</p>	<p>タクシー 5-15分</p> <p>■ タクシーをご利用の場合 ①市営地下鉄南北線「北18条駅」より約5分。 ②「JR札幌駅北口」より約15分。</p>	<p>自家用車</p> <p>■ 自家用車の場合のご注意 新川通の「札幌工業高校前信号交差点」からのみ、お入り頂けます。 ※地下鉄北18条駅側から来られる場合は、「エルムトンネル」を通る経路(青い線)をご利用ください。</p>
--	--	--